

## 編集後記

紀要の第5巻がようやく完成した。

本巻では、開学当初の、新しく特色ある大学を創り上げようと、全教員一致して目指した精神に立ち返る時期に来ているとの認識のもとに、当時実施した記念講演内容を特集し、記録した。

投稿時に、よく吟味した最終原稿を提出していただければどれだけ容易に校閲と編集が出来るかと思ひ知らされる。紀要と言えども、立派な研究成果を公にするという心構え、この基本的な姿勢を忘れてはならないと思う。一部の投稿者にこの点を特にお願いしたい。論文の内容については著者自身が責任を持つべきであるが、投稿にあたっては、一応の明確な結論を得た段階で、表現については十分に推考したものを提出していただきたい。このような観点から、そろそろ紀要のあり方について、検討する時期に来ていると思われる。

紀要は大学の研究に対しての取り組みの一側面の反映であると言えよう。

編集委員長

この紀要の編集中の平成9年8月21日、事務職員、関口敬二郎さんの新潟県での釣りの帰宅途中に起きた交通事故による突然の死亡という、悲しい出来事がありました。彼は27歳という若さで、本学においても将来を嘱望された有能な人材であり、誠に残念でなりません。彼の生前の本学に対する貢献に感謝し、謹んで心からご冥福をお祈りいたします。

合 掌

編集委員長 富 永 裕 之